

支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 社名：積水バイオリファイナリー株式会社
- ・ 設立：2020年4月
- ・ 本社：東京都港区
- ・ 事業内容：BR エタノール技術の実証事業の実施、およびBR エタノール技術の事業展開

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額：30億円（上限）
- ・ 共同投資家：積水化学工業
- ・ 出資比率：積水化学工業 66%：INCJ 34%

3. 投資意義

<社会ニーズへの対応>

- ・ カーボンリサイクルを通じたサーキュラー・エコノミーへの転換
 - エタノール原料の調達面における石油依存を脱却
 - ごみ焼却処理におけるCO2排出量の削減
 - 国内プラスチックごみ問題の解決にも寄与
- ・ エネルギー安全保障
 - ほぼ全量を輸入に頼っている燃料用エタノールの自給率を高めることが可能
- ・ 地方創生
 - 全国のごみ処理施設に普及することで、エタノール販売収益の確保に加え、雇用創出や関連企業の誘致を期待

<成長性>

- ・ 新たな付加価値の創出
 - 従来のオイルリファイナリー・エコシステムを代替補完するバイオリファイナリー・エコシステムの創出
 - リサイクル+埋め立てが主流である欧州市場等への本邦焼却炉メーカーの展開を期待

<革新性>

- ・ 先端基礎技術の結集および活用
 - ごみの焼却ガスから微生物触媒を通じてエタノールを生成する世界初の革新的技術
 - 積水化学（ガス制御）、ランザテック（微生物触媒）、焼却炉メーカーなど各社が保有する技術を組み合わせ事業化を目指すオープンイノベーション的取り組み
 - 本事業で生産されたエタノールは、身近なプラスチック等の有機化学素材に誘導可能

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

本事業は、ごみ処理施設に収集されたごみを一切分別することなくガス化し、当該ガスから微生物触媒を利用して熱・圧力を用いることなくエタノールに安定的に変換する革新的技術による事業であり、プラスチック等のリサイクルを通じた資源の有効利用やCO2排出抑制の推進、地方創生、エネルギー安全保障の確保等の問題解決に資するよう、商用事業の実現に向けた適切な支援に努められたい。